

平成20年度 農業予算概要

県民満足度の向上に向けた山形らしい農業施策の展開について

農業者の 不満・不安

- 施策が大規模農家に集約されており、小規模農家や山間地域などは切り捨てられるのではないかと。
- 国際競争の激化等により、米を始めとする農産物の価格は下がり続けており、農業所得も減少傾向にある。
- 米の価格の急激な下落により、大規模な稲作農家ほど経営の危機に瀕している。
- 支援の対象が米・大豆などに限定され、県内でも果樹・野菜を中心に取り組む複合農家が多い地域の実情に合わない。
- 高齢化や都市部への人口の流出などにより、農村集落の活力が低下している。



山形らしさ事業費総額 1,480百万円（うち一般財源 536百万円）

◎新しい施策 ○施策の拡充強化

条件不利地域等に向けた施策（170百万円）

- 意欲ある小規模農家に対する支援の充実
 - ◎集落営農への取組みが進んでいない地域に対する合意形成の支援（国庫新規「集落営農総合支援事業」で対応）
 - ◎小規模畑地化支援事業における集落営農参加の支援
- 中山間地等条件不利地での営農に対する支援
 - 「アグリサポーター制度」による農作業支援（既存事業「定年婦農等支援事業」の中で対応）
 - ◎そばの経営所得対策（生産コスト補てん）
 - ◎輸入飼料の高騰を受け増産要請が強い飼料用米の生産振興の支援
 - ◎有害鳥獣対策による農作物被害の軽減

複合経営など地域事情にあわせた施策（83百万円）

- 園芸施設整備に対する支援の拡充
 - 園芸チャレンジプラン事業に基づく担い手の園芸振興に対する支援（条件緩和等）
 - ◎集落営農組織に参加する園芸農家等への支援拡大
- 果樹農家の世代交代・後継者確保対策
 - 高齢化が進み、兼業後継者が多い果樹農家の円滑な世代交代促進（国庫「果樹経営支援対策事業」で対応）
- 耕作放棄地の復元による産地の維持拡大
 - ◎耕作放棄地を復元し、周囲の農地と一体的に活用することによる産地形成

農村集落の活力向上に向けた施策（810百万円）

- 元気のある女性農業者の活動支援
 - ◎しっかりとした経営目標を持ち直売活動等に取り組む元気のある女性農業者等の活動を支援
- 都市との交流促進による農山漁村の活性化
 - 都市と農山漁村の共生・対流に向けた情報発信とグリーン・ツーリズム実践者ネットワークの形成等
- 誇りを持って暮らせる山形らしい農村環境の形成
 - 農地・水・環境保全対策による農業資源や農村環境の保全（運用の弾力化）
 - ◎質の高い農村環境保全施策の有機的連携、優れた農村環境を保全している団体への表彰制度の創設等
 - ◎住民自らが作成した地域デザインに基づく、若者から高齢者までの共働による「一村一〇（いっそんいちまる）運動」への支援
- 安心していきいき暮らせる農村環境の整備
 - 老朽ため池・水路トンネル等の緊急改修による決壊リスクの解消
 - 水利施設の適切な整備・補修による施設の長寿命化とライフサイクルコストの軽減

農業所得の向上・農業の体質強化に向けた施策（210百万円）

- 地域間競争に打ち勝てるブランドづくり
 - ◎新品種米「山形97号」のブランド化
 - 山形セレクションの充実強化
 - 環境保全型農業の推進
 - 本県オリジナル新品種の開発（りんご・西洋なし・いちご・平忠勝等）
- 多様な農業収入の確保による所得の向上
 - ◎飼料用米の多収品種の選定、低コスト多収技術の開発
 - 在来作物を含む地域野菜のブランド化推進
 - ◎転作水田、耕作放棄地等を活用した繁殖牛導入の支援
- 消費地情報の産地等へのフィードバック機能の強化
 - 東京事務所等による消費者・実需者情報の収集・提供・マッチング機能の強化
- 「日本一の農業大学校」を目指した機能強化
 - ◎果樹経営学科・農産加工経営学科の新設に向けた教育環境の整備
 - ◎リカレント教育の充実など、農業大学校の生涯教育センター機能の強化
- 新たな担い手の育成支援の強化
 - ◎農家での実践研修と農業大学校等での研修を組み合わせた担い手育成
- 食産業クラスター事業の加速・成果の発現
 - ◎開発・販売・改良サイクルの実行による「売れる商品」化
 - 食品製造業者等との契約栽培の拡大

農林業の多面的な機能を発揮させる施策（134百万円）

- やまがた緑環境税を活用した森林整備による環境保全
- 農と食の豊かさを考える食育の一層の推進
 - ◎都市圏の子供たちなどの本県農山漁村への受入態勢の整備
 - ◎児童の農業体験による食と農の大切さの理解促進

基幹作物である米の持続的生産の確保（73百万円）

- 米の流通対策の推進
 - ◎学校給食等への供給、日本型食生活の普及啓発、米粉の活用等
 - 県産米の流通対策の推進
- 米の農家手取り価格の下落に伴う減収対策
 - ◎県単独の米価下落対策緊急資金の創設に伴う利子補給
- 生産調整のメリット拡充
 - ◎産地づくり交付金の県単独上乘せ（そば・飼料用米）
- 就労機会の増加等による農家所得の確保
 - ◎建設分野等における就労機会の確保

農業・農村の活性化による県民満足度の向上

●明確な目標 ●目標を達成するための戦略 ●農業の継続性（後継者）など

意欲ある農業者への支援による山形県農業の振興



皆様のご意見等を議会活動に反映させるためにもご意見・ご要望をお寄せ下さい。